

愛媛大学附属高等学校へのご入学おめでとうございます。愛媛大学を代表して、120 名の新生の皆さんを心から歓迎いたします。

さて、皆さんは、小学校そして中学校における合計9年間の義務教育の中で、基本的な学力と社会知識を身につけて来られましたが、高校では、これまでの自分の興味あるいは経験をもとに、自分の将来の進路を定めていく必要があります。その意味で、高校生活の過ごし方は人生の中で極めて重要です。これからの3年間、いろいろなことに積極的にチャレンジして、悔いのない充実した高校生活を送っていただきたいと思います。

では、自分の進路はどうやって決めればいいのでしょうか？答えは簡単です。それには自分の「夢」をしっかりと見つめ直すことです。皆さんにはそれぞれ、「将来こんなことをしたい」とか、「何かになりたい」という「夢」があるはずで、「夢」を持つことは人間だけが持っている特権ですし、みなさんが人生を生きていく上での無限のエネルギーです。「夢」こそが、みなさんの進路決定に直結しているのです。

「夢追い人になろう！」これが私から皆さんに贈るメッセージです。「夢追い人」とは、自分の理想あるいは目標に向けて日々努力する人のことを言います。でも、すぐになれる訳ではありません。「追う」という部分がとても大切なのです。何もせずにじっとしていたのでは、ただの「夢見る人」です。「夢追い人」になるためには「自ら行動する」ことが必要です。

「夢追い人」への最初のステップは「さらなる知識の吸収」です。義務教育で培った基本知識の上に、自分の夢に関連した、さらに高度な知識を積み上げて行きましょう。この積み上げ作業ですが、狭い範囲に偏らず、できるだけ幅広く行うのがいいでしょう。知識の幅が広がれば広いほど、いろいろな考え方ができるようになるからです。むろん、高いモチベーションを持って、自発的、積極的に学ぶ必要があります。これが「学び人」のステップです。

「夢追い人」への第二ステップは「適性の確認」、すなわち、「自分がなりたい」と思っているものが、本当に「自分に合っているのか」を見極めることです。とは言っても、頭の中で考えているだけではなかなか結論は出ません。先生、家族、そして同じ道を進んでいる先輩などを尋ねて相談してみましょう。自分に対する外からの評価を知ることができますし、勉強法などについてもいいアドバイスが貰えるかも知れません。また、地域のイベントやボランティア活動などに積極的に参加してみるのもお勧めです。そこで出会った人たちから思わぬヒントを得ることもあるからです。迷いつつも、自分の「夢」を様々な

方向から確認していく。これが「尋ね人」のステップです。

この「学び人」から「尋ね人」のステップを能動的に繰り返すうちに、3年生になる頃には、みなさんは自然と「夢追い人」になっています。この「夢追い人サイクル」に乗って自分の進路を決めて行きましょう！

ここで、一つ頭に入れておいて欲しいことがあります。それは大学入試制度の改革です。今、文部科学省では、「1点を争う」ような、これまでの学力偏重の選抜方式を改めて、面接や集団討論、高校在学中の活動実績などを「総合的に評価する」、新たな選抜制度の導入を考えています。もちろん一定の学力は必要ですが、それに加えて、日常の勉学状況、ボランティア活動、課外活動、生徒会活動なども評価の対象となります。その意味でも、さっきお話をした「夢追い人サイクル」の実践はいい追い風になることでしょう。

さて、愛媛大学では、来年度、大規模な学部再編を実施しますが、その中の一番の目玉は「社会共創学部」の新設です。「共創」という言葉は聞いただけでは分かりにくいかも知れませんが、「共に創る、創造する」という意味です。「企業経営」、「技術革新」、「環境保全」、「地域活性化」などをテーマに、地域に新しい価値を創り出していく人材を育てるのが目標であり、地方自治体や地元企業などからは熱い期待が寄せられています。皆さんのような若い世代に「地域を担う意欲」を持っていただければ、地域の未来は間違いなく明るくなります。多くの「夢追い人」がこの新しい学部の門を叩かれることを期待しています。

最後になりましたが、さまざまな体験と多くの人々との交わりの中で、皆さんの附属高校での生活が充実したものとなることを心から願い、お祝いのあいさつといたします。

平成27年4月8日

愛媛大学長 大橋裕一